

## 第27回日台原子力安全セミナーの開催について

平成24年5月9日  
(社) 日本原子力産業協会

当協会では台湾との間で原子力安全に係わる情報共有・意見交換ならびに原子力関係者の交流を図るため、1986年以来「日台原子力安全セミナー」を毎年、日本と台湾で交互に開催しております。

福島第一原子力発電所の事故は、日本と同じ地震国であり、自然の脅威に絶えずさらされている台湾の原子力政策に大きな影響を与えました。台湾では昨年11月、既存の6基の原子炉に40年の運転期間を設定し、段階的に閉鎖することを発表しています。我々は福島事故の経験と教訓を世界中で共有し、安全技術の向上を通して社会の信頼を回復する必要があります。

そのため、この度「福島事故以降の原子力」を主要テーマに、エネルギー政策、安全対策、廃炉・除染事業等の日本の取組について報告し、情報共有を図り、原子力安全の一層の向上に資するため、第27回日台原子力安全セミナーを本年7月24日(火)～26日(木)に台北で開催し、原産協会代表団を編成・派遣することとしました。

実施にあたっては日本側準備委員会(委員長:服部拓也・当協会理事長)を設け、具体的なプログラム内容の検討及びセミナーの円滑な運営を図り、台湾側と緊密に連絡を取りつつ準備を進めることと致します。

### 記

1. 訪問日程 : 平成24年7月23日(月)～27日(金) (5日間)  
※セミナー後、テクニカルツアーを実施
2. 開催場所 : ハワード・プラザ・ホテル (台北市)
3. 主 催 : 日本側: 日本原子力産業協会  
台湾側: 原子能委員会、台湾電力公司、核能研究所、  
放射性物質管理局、中華核能学会
4. 使用言語 : 日・中同時通訳 (\*スライド: 英語)
5. 参加費 : 85,000円/人

以上